

クロイズアップ  
 ～今を生きる 人こそが宝～  
 第18回

コーラス「にれ」 会長 三浦 道幸 (みうら みちゆき) さん

～明るく、楽しく、そして美しく 歌い続けたい～

◆音楽との出会い

幼少の頃より音楽に興味があり、小学校時代に鼓笛隊で旭川の招魂祭に参加。吹奏楽など、そのスケールの大きさや音楽の素晴らしさを実感し、カルチャーショックを受ける。中学校、高校と吹奏楽でトロンボーンを演奏。大学時代は雅楽部で龍笛を学び、

学生時代のほとんどは音楽とともに過ごす。また、当時のフォークソングにも影響を受け、バンドを組んで演奏するなど、音楽全般にわたって活動してきた。

■コーラス「にれ」へ

昭和52年に帰町してから、ウインドオーケストラに

■コーラス「にれ」の活動

昭和54年2月、歌を歌いたいとの希望を持つ女性15人ほどが集まり、当初は女声コーラス「にれ」として活動。その後、昭和58年に、男性も加わり、混成合唱団として生まれ変わり、そのレパートリーも30～40曲を超える。現在は中学校教諭の永易先生が指導にあたってくれている。

所属し、トロンボーンを引き続き演奏。そんなおり、和寒中学校の教諭でコーラス「にれ」を指導していた澤渡先生に出会い、コーラス「にれ」でコンサートを行うため、歌が歌える男性を探していることが誘いを受け、参加したことがきっかけとなる。

所屬し、合唱団の構成は、ソプラノ、アルト、テノール、バスのパートに分かれており、曲に応じてそれぞれが担当のパートを受け持つ。

三浦さんは合唱の魅力について「美しく、やさしく、時には激しく力強く、聴く人にも喜びと感動を与えられる」、また「気持ちの一つに集中させてハーモニーを響かせる」と、時に残響が聴こえる。その一体感を皆で味わえるのが「たまらない」という。

■今年で30周年

コーラス「にれ」は今年で30周年を迎えた。2月26日には記念コンサートも開催され、多くの町民を魅了した。

三浦さんは「明るく、楽しく、そして美しくをモットーに、元気で長く歌い続け、あたたかく、心のやすらぎとなるような活動を今後もしていきたい」と語ってくれました。



愛唱歌の「津軽平野」は無伴奏（アカペラ）で歌われ、コーラス「にれ」で長く親しまれてきた曲。そのほか、「箱根八里」「涙そうそう」「ふるさと」などが多く歌わ



三浦 道幸さん[コーラス「にれ」会長] 58歳  
 和寒町字東町 TEL 0165-32-4186

出身：和寒町字三笠

経歴：1964年 和寒小学校卒業 1967年 和寒中学校卒業  
 1970年 士別高等学校卒業 1974年 天理大学卒業（奈良県）  
 1977年 本町へ帰町

趣味：コーラス、ジャズ、楽器演奏など音楽全般